

Ⅶ. 4 先端医療センター

Ⅶ. 4. 1 総合腫瘍科

1. 南條成輝, 片上信之, 衣斐寛倫, 竹内伸二, 岡田保典, 矢野聖二: EGFR変異肺癌の髄膜癌腫症モデルでの中枢神経系における新たな耐性機序の克服. 第56回日本呼吸器学会学術講演会, 京都, 2016. 4. 10
2. Yoshida K, Inoue A, Sugawara S, Murakami S, Saka H, Morita S, Hak Kim H, Imamura F, Takeda K, Nakagawa K, Takeda M, Atagi S, Hasegawa Y, Yamamoto N, Katakami N, Yoshioka H, Iwamoto Y, Okamoto I, Seto T, Ohe Y: Overall survival (OS) of EGFR mutation-positive non-small cell lung cancer (NSCLC) patients: Real-world treatment patterns of 1,660 Japanese patients (pts) . ASCO annual meeting, Chicago, 2016. 6. 3 - 7
3. Harada T, Katakami N, Murata T, Shinozaki K, Tsutsumi M, Yokota T, Arai M, Suzuki Y, Narabayashi M, Boku N: Phase 3 study to evaluate the efficacy and safety of naldemedine for the treatment of opioid-induced constipation (OIC) in cancer patients. ASCO annual meeting, Chicago, 2016. 6. 3 - 7
4. 奥田千幸, 藤田史郎, 南條成輝, 秦 明登, 加地玲子, 真砂勝泰, 片上信之: アレクチニブによる治療後に小細胞癌への転化がみられたALK陽性肺癌の1例. 第104回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2016. 7. 16
5. 秦 明登, 南條成輝, 奥田千幸, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 片上信之: 既治療非小細胞肺癌におけるT790M遺伝子/PD-L1発現確認目的の組織採取のための再生検. 第104回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2016. 7. 16
6. 黒郷 哲, 奥田千幸, 沖山 努, 片上信之: がんリハビリテーション実施時のECOG Performance Statusと筋力ならびに持久力との関連. 第14回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸, 2016. 7. 28-30
7. Uchino J, Katakami N, Yokoyama T, Naito T, Kondo M, Yamada K, Kitajima H, Yoshimori K, Sato K, Takiguchi Y, Takayama K, Eguchi K: NO-7643/anamorelin for the treatment of patients with non-small cell lung cancer and cachexia: results from phase 2 study with Japanese patients. ESMO congress, Copenhagen, 2016.10. 7 - 11
8. Hata A, Katakami N, Nanjo S, et al: (PD-L1) expression and T790M status in EGFR-mutant non-small cell lung cancer (NSCLC) . ESMO congress, Copenhagen, 2016.10. 7 - 11
9. 露木 茂, 仙田典子, 康裕紀子, 山口絢音, 芳林浩史, 木川雄一郎, 片上信之, 加藤大典, 奥野敏隆, 稲本俊: 手術手袋を用いた圧迫療法による, アブラキサン起因性末梢神経障害への予防効果. 第54回日本癌治療学会, 横浜, 2016.10.20-22
10. 篠崎勝則, 片上信之, 原田敏之, 村田 透, 堤 雅一, 横田隆明, 新井政嗣, 鈴木ゆら, 朴 威和, 奈良林至: オピオイド誘発性の便秘症を有するがん患者を対象としたナルデメジンの第3相臨床試験. 第54回日本癌治療学会, 横浜, 2016.10.20-22
11. 秦 明登, 片上信之, 南條成輝, 奥田千幸, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎: 既治療非小細胞肺癌におけるT790M遺伝子/PD-L1発現確認目的の組織採取のための再生検. 第54回日本癌治療学会, 横浜, 2016.10.20-22
12. 秦 明登, 南條成輝, 吉積悠子, 奥田千幸, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 入江 慶, 岡田 裕, 岡田秀明, 片上信之: 癌性髄膜炎合併T790M陽性非小細胞肺癌に対するオシメルチニブのパイロットスタディ. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
13. 秦 明登, 真砂勝泰, 藤田史郎, 片上信之: 既治療非小細胞肺癌におけるEGFR遺伝子変異の有無によるPD-L1蛋白発現の検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
14. 秦 明登, 片上信之, 平田結喜緒: 獲得耐性後のEGFR遺伝子変異陽性非小細胞肺癌におけるT790M耐性遺伝子とPD-L1蛋白発現の相関. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
15. 金原正志, 吉岡弘鎮, 安宅信二, 西村尚志, 岩本康男, 金 永学, 富井啓介, 片上信之, 小牟田清, 西川正憲, 弦間昭彦, 山木健市, 河原正明, 興相陽平, 石田 直, 田宮朗裕, 山中竹春, 宮越千智, 三尾直士: 未治療進展型小細胞肺癌に対するアムルピシン/イリノテカン併用療法の無作為化試験 JMTO LC0801. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
16. 真砂勝泰: KRAS遺伝子変異を有するNSCLC症例におけるmultiplex PCRベースの次世代シーケンサーによる遺伝子解析. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
17. 秦 明登, 吉積悠子, 奥田千幸, 南條成輝, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 片上信之, 高山賢二, 今葎倍敏行: 非小細胞肺癌に対するシスプラチン+ペメトレキセド同時併用の化学放射線療法: 単一施設からの後ろ向き検討. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21

18. 秦 明登, 片上信之, 吉積悠子, 奥田千幸, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 今井幸弘: 既治療非小細胞肺癌におけるT790M遺伝子/PD-L1発現確認目的の組織採取のための再生検. 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
19. 秦 明登: EGFR変異は変異別に治療を考えるべきか? 第57回日本肺癌学会学術集会, 福岡, 2016.12.19-21
20. 秦 明登: 青年の主張.腫瘍内科医の立場から. 第105回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2017. 2 .25
21. 奥田千幸, 吉積悠子, 南條成輝, 秦 明登, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 片上信之: 当院におけるオシメルニブの使用経験. 第105回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2017. 2 .25
22. 増田義雄, 今道富美子, 有賀典子, 藤富清美, 畠中可奈, 譜久嶺陽子, 真砂勝泰, 奥田千幸, 秦 明登, 加地玲子, 藤田史郎, 片上信之: EGFR-TKI投与時のRashマネジメントチーム事前・事後介入の評価. 第105回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2017. 2 .25
23. 吉積悠子, 奥田千幸, 秦 明登, 加地玲子, 真砂勝泰, 藤田史郎, 片上信之: 肺癌脳転移に対する定位放射線治療に伴う放射線脳壊死に抗VEGF抗体が奏功した症例. 第105回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2017. 2 .25

VII. 4. 2 血管再生科

1. 馬場理江, 那須浩二, 川本篤彦: 拡張期成分に着目したドプラ波形分類による下肢動脈病変の評価. 第57回日本脈管学会総会, 奈良, 2016.10.14
2. 川本篤彦: 心血管再生治療の臨床展開 (教育講演). 第37回日本アフェレシス学会学術大会, 横浜, 2016.11.27
3. 川本篤彦: CD34 陽性細胞による心血管・骨・肝臓の再生医療. メディカルジャパン2017企業化促進セミナー, 大阪, 2017. 2 .15
4. Kawamoto A: Clinical Development of GCSF-Mobilized CD34+ Cell Therapy in Patients with Critical Limb Ischemia. 3rd Taiwan-Japan Academic Research Organization Workshop, Fukuoka, 2017. 3 .13
5. Kawamoto A: PAD/CLI: Extent of the Problem, Current Management, Unmet Medical Need, and Novel Approach by CD34+ Cell Therapy. PAD/CLI Research and Emerging Therapies Workshop, Tokyo, 2017. 3 .28

VII. 4. 3 眼科

1. 栗本康夫: 人工多能性幹細胞による網膜色素上皮シート移植術 (シンポジウム). 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
2. 栗本康夫: 神戸市立医療センター中央市民病院の指導体制 (専門医制度指導医講習会). 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
3. 栗本康夫: 原発閉塞隅角緑内障の手術治療 (サブスペシャリティサンデー). 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
4. 吉水 聡, 広瀬文隆, 宇山紘史, 高木誠二, 藤原雅史, 栗本康夫: 急性原発閉塞隅角眼と慢性原発閉塞隅角眼における前眼部構造の比較. 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
5. 宮本紀子, 万代道子, 宇山紘史, 高木誠二, 西田明弘, 栗本康夫: 加齢黄斑変性におけるアフリベルセプト早期再発群の維持中のDry maculaに関する検討. 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
6. 許沢尚弘, 藤原雅史, 吉水 聡, 宇山紘史, 高木誠二, 広瀬文隆, 栗本康夫: 毛様体扁平部挿入型バルバルト緑内障インプラント手術の術後中期成績. 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
7. 高木誠二, 高橋政代, 平見恭彦, 藤原雅史, 富田剛司, 栗本康夫: 視力良好な定型網膜色素変性での網膜血管面積と中心窩無血管領域の評価. 第120回日本眼科学会, 仙台, 2016. 4 . 7 -10
8. 平見恭彦: 網膜変性疾患へのiPS細胞の臨床応用と今後の展開 (講演). 第21回眼科若手研究者の会, 仙台, 2016. 4 . 8
9. 宮本紀子: DME治療のアプローチ. H3DME研究会, 神戸, 2016. 4 .16
10. Kurimoto Y, Hirami Y, Fujihara M, Morinaga C, Yamamoto M, Fujita K, Sugita S, Mandai M, Takahashi M, Fujita K, Sugita S: Transplantation of autologous induced pluripotent stem cell-derived retinal pigment epithelium cell sheets for exudative age related macular degeneration: A pilot clinical study. ARVO 2016, Seattle in U.S.A, 2016. 5 . 1 - 5

11. Yamamoto S, Miyamoto N, Fujihara M, Ishida S, Kurimoto Y: Five-year outcomes of inner segment ellipsoid and external limiting membrane status after pars plana vitrectomy in diabetic macular edema. ARVO 2016, Seattle in U.S.A, 2016. 5. 1 - 5
12. 栗本康夫：原発閉塞隅角症/緑内障の治療戦略（講演）。第16回北海道眼科ワークショップ，札幌，2016. 5. 14
13. 栗本康夫：滲出型加齢黄斑変性に対する自家iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植（特別講演）。第20回奈良県黄斑疾患研究会，奈良，2016. 5. 19
14. 平見恭彦：網膜変性疾患へのiPS細胞による再生医療（講演）。JRPS徳島支部第12回定期総会，徳島，2016. 5. 22
15. 宇山紘史：専門外来報告 神経眼科外来報告。第51回神戸市立医療センター中央市民病院 眼科臨床懇話会，神戸，2016. 6. 2
16. 吉水 聡：抗VEGF薬をswitching backしたPCVの一例。Hyogo Young Macula Club，神戸，2016. 6. 10
17. 山本庄吾：IVR併用PDTが有効だったRAPの一例。AMD治療におけるPDTの再評価，神戸，2016. 6. 11
18. 栗本康夫：iPS細胞を用いた網膜の再生医療（招待講演）。第9回NMS EYE CONFERENCE，東京，2016. 6. 15
19. 藤原雅史：視野の基本～緑内障を添えて～（講演）。第4回眼科疾患勉強会，西宮，2016. 6. 15
20. 広瀬文隆：閉塞隅角緑内障を読み解く！（特別講演）。第7回関西Glaucoma Update，大阪，2016. 6. 25
21. 栗本康夫：PACS, PAC, PACG 病期別の白内障手術の適応（特別講演）。Regional Seminar of Cataract Surgery with TECNIS in北九州，北九州，2016. 7. 2
22. 石田和寛：糖尿病網膜症外来報告「DMEに対するアフリベルセプト硝子体注射の中期成績」。第52回神戸市立医療センター中央市民病院 眼科臨床懇話会，神戸，2016. 7. 7
23. 藤原雅史：難治性緑内障に対する毛様体扁平部挿入型バルベルト緑内障インプラントの術後中期成績（講演）。第17回緑内障手術研究会，大阪，2016. 7. 15
24. 平見恭彦：加齢黄斑変性に対するiPS細胞を用いた治療と今後の展望（特別講演）。第91回中央眼科集談会，東京，2016. 7. 15
25. 宮本紀子：AMDの長期管理，どないしてます？第21回兵庫県黄斑疾患研究会，神戸，2016. 7. 16
26. 松崎光博，西田明弘，宇山紘史，高木誠二，宮本紀子，万代道子，栗本康夫：抗VEGF薬で再発を繰り返した網膜静脈分枝閉塞症に伴う黄斑浮腫への硝子体手術例。第33回日本眼循環学会，福岡，2016. 7. 22-23
27. 平見恭彦：再生医療とロービジョンケア（講演）。平成28年度低視覚者社会適応訓練講習会，大阪，2016. 7. 23
28. 栗本康夫：iPS細胞を用いた網膜の再生医療（講演）。関西ニュービジネス協議会 夏のビッグイベント2016 講演会，神戸，2016. 8. 29
29. 平見恭彦：再生医療と視覚リハビリテーション（講演）。平成28年度大阪府北ブロック保健所難病講演会，吹田，2016. 9. 1
30. 広瀬文隆：みんなの閉塞隅角緑内障（特別講演）。滋賀県眼科セミナー，大津，2016. 9. 3
31. 広瀬文隆：閉塞隅角緑内障の診療ポイント（特別講演）。なにわ眼科勉強会，大阪，2016. 9. 6
32. 広瀬文隆：閉塞隅角の科学（シンポジウム）。第27回日本緑内障学会，横浜，2016. 9. 17-19
33. 吉水 聡，広瀬文隆，山本庄吾，宇山紘史，高木誠二，藤原雅史，栗本康夫：急性原発閉塞隅角眼と慢性原発閉塞隅角眼の水晶体再建術後の前眼部構造の比較。第27回日本緑内障学会，横浜，2016. 9. 17-19
34. Kurimoto Y: Surgical Treatment of Primary Angle Closure (Japan-Asia Symposium) . The 27th Meeting of Japan Glaucoma Society, Yokohama, 2016. 9. 17-19
35. Takagi S, Kurimoto Y, Hiram Y, Takahashi M, Tomita G, Fujihara M, Yamamoto S: Fundus autofluorescence and optical coherence tomography in pigmented paravenous retinochoroidal atrophy. XVII International symposium on retinal degeneration RD2016, Kyoto, 2016. 9. 19-24
36. Kurimoto Y: Transplantation of autologous iPS cell-derived RPE cell sheets for exudative AMD: A Pilot clinical study. XXII Biennial meeting of the international society for eye research, Tokyo, 2016. 9. 25-29
37. 平見恭彦：再生医療と視覚リハビリテーション（講演）。平成28年度姫路市難病相談会，姫路，2016. 10. 1
38. 栗本康夫：滲出型加齢黄斑変性に対する自家iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植（特別講演）。第60回眼科フォーラムプログラム，松山，2016. 10. 2

39. 平見恭彦：再生医療と視覚リハビリテーション（講演）．第11回JRPS網脈絡膜変性フォーラム，伊勢，2016.10.2
40. 藤原雅史：はじめての緑内障（講演）．平成28年目の愛護デー，神戸，2016.10.2
41. 広瀬文隆：水晶体摘出術後の閉塞隅角緑内障．第14回兵庫県眼科オープンカンファレンス，神戸，2016.10.8
42. 平見恭彦：加齢黄斑変性に対するiPS細胞を用いた再生医療（講演）．平成28年度近眼連主催眼科スタッフ教育講座，大阪，2016.10.15
43. Yoshimizu S, Miyamoto N, Fujihara M, Ishida K, Kurimoto Y, Yoshimizu S, Miyamoto N, Fujihara M, Ishida K, Kurimoto Y: Association of vessel flow density and inner segment ellipsoid defect with visual acuity in diabetic macular edema. AAO2016, Chicago in U.S.A, 2016.10.15-18
44. 広瀬文隆：閉塞隅角緑内障を解き明かす！（特別講演）．兵庫区眼科懇話会，神戸，2016.10.20
45. 栗本康夫：iPS細胞を用いた網膜の再生医療（特別講演）．熊本眼疾患フォーラム，熊本，2016.10.21
46. 栗本康夫：iPS細胞を用いた網膜の再生医療（特別講演）．第26回東邦大学医療センター大橋病院と渋谷区・世田谷区・目黒区眼科医会合同勉強会，東京，2016.10.22
47. 栗本康夫，酒井 寛，山本哲也：原発閉塞隅角緑内障の治療戦略－用語の基本から困った症例の対応まで－（インストラクションコース）．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
48. 大家義則，奥村直毅，羽藤 晋，平見恭彦：再生医療ナナメヨミ2016（インストラクションコース）．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
49. 中村隆宏，稲富 勉，脇舛耕一，平見恭彦，藤原雅史，高木誠二，栗本康夫，外園千恵，木下 茂：虹彩縫合による瞳孔形成術を併用したDSAEKの治療成績．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
50. 平見恭彦，荒井優気，高橋政代，栗本康夫：遺伝カウンセリングにより疾患の遺伝性への認識が変化した網膜色素変性の一例．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
51. 吉水 聡，宮本紀子，栗本康夫：ポリープ状脈絡膜血管症破裂後著明な出血のため前房の完全消失，眼圧上昇に至った一例．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
52. 許沢尚弘，広瀬文隆，栗本康夫：眼球突出と兎眼を伴う外傷性眼内炎に対して眼球内容除去術を施行した1例．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
53. 高木誠二，平見恭彦，高橋政代，山本庄吾，藤原雅史，富田剛司，栗本康夫：色素性傍静脈網脈絡膜萎縮のFAFとOCT所見の特徴．第70回日本臨床眼科学会，京都，2016.11.3-6
54. 広瀬文隆：閉塞隅角緑内障を解き明かす！（特別講演）．神戸市眼科医会西区講演会，神戸，2016.11.10
55. 栗本康夫：加齢黄斑変性に対するiPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植（講演）．第19回浜松眼科フォーラム，浜松，2016.11.11
56. Miyamoto N, Mandai M, Oishi A, Nakai S, Honda S, Hirashima T, Oh H, Matsumoto Y, Uenishi M, Kurimoto Y: Long-term results of verteporfin PDT or ranibizumab for PCV in LAPTOP study（優秀演題シンポジウム）．第55回日本網膜硝子体学会，東京，2016.12.2-4
57. 高木誠二，万代道子，宮本紀子，西田明弘，平見恭彦，宇山紘史，山本 翠，池見 洋，高橋政代，富田剛司，栗本康夫：抗VEGF治療中の加齢黄斑変性において矯正視力が不良となる症例の特徴と背景．第55回日本網膜硝子体学会，東京，2016.12.2-4
58. 栗本康夫，平見恭彦，藤原雅史，森永千佳子，山本 翠，藤田佳奈子，伊都知子，杉田 直，万代道子，高橋政代：滲出型加齢黄斑変性に対する自家iPS細胞由来網膜色素上皮シート移植：2年の臨床経過．第55回日本網膜硝子体学会，東京，2016.12.2-4
59. 西田明弘，宇山紘史，高木誠二，宮本紀子，万代道子，栗本康夫：網膜静脈分枝閉塞症に対するラニビズマブからアフリバルセプトへの切り替え例．第55回日本網膜硝子体学会，東京，2016.12.2-4
60. 石田和寛，宮本紀子，藤原雅史，宇山紘史，山本庄吾，吉水 聡，松崎光博，許沢尚弘，栗本康夫：糖尿病黄斑浮腫に対するアフリバルセプト硝子体注射の治療成績．第55回日本網膜硝子体学会，東京，2016.12.2-4
61. 西田明弘：前眼部新生血管を伴うCRVOに対する抗VEGF薬とPRPの併用療法．黄斑疾患フォーラムin Kobe，神戸，2016.12.17
62. 平見恭彦：網膜疾患へのiPS細胞の臨床応用（講演）．静岡県中部医学会学術講演会，静岡，2017.1.14
63. 栗本康夫：加齢黄斑変性に対するiPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植（特別講演）．第36回とやま眼科学術講演会，富山，2017.1.21

64. 許沢尚弘, 広瀬文隆, 松崎光博, 宇山紘史, 藤原雅史, 栗本康夫: 硝子体切除で改善しない悪性緑内障に対して周辺虹彩切除と水晶体嚢切除を施行した2例. 第40回日本眼科手術学会, 東京, 2017. 1. 27-29
65. 山本庄吾, 宮本紀子, 許沢尚弘, 中村隆宏, 栗本康夫: 眼球破裂の診断に前眼部光干渉断層計が有用であった一例. 第40回日本眼科手術学会, 東京, 2017. 1. 27-29
66. Kurimoto Y: iPS in the retina (Invited, Symposium). APAO2017, Singapore, 2017. 3. 1-5
67. 栗本康夫, 平見恭彦, 高木誠二, 小田稔彦, 坂口裕和, 岡田 潔, 高須直子, 土肥浩美, 小出直史, 森永千佳子, 北島裕幸, 杉田 直, 万代道子, 西田幸二, 山中伸弥, 高橋政代: 加齢黄斑変性に対する他家人工多能性幹細胞由来網膜色素上皮細胞移植の臨床研究実施計画. 第16回日本再生医療学会総会, 仙台, 2017. 3. 7-9
68. 広瀬文隆: 前眼部OCTでわかる閉塞隅角緑内障 (特別講演). 第279回広島眼科症例検討会, 広島, 2017. 3. 9
69. 中村隆宏, 平見恭彦, 藤原雅史, 高木誠二, 外園千恵, 栗本康夫: 先端医療センター病院眼科におけるDSAEKの治療成績. 第36回神戸市立医療センター中央市民病院眼科オープンカンファレンス, 神戸, 2017. 3. 11
70. 吉水 聡, 広瀬文隆, 宇山紘史, 高木誠二, 藤原雅史, 栗本康夫: 急性原発閉塞隅角眼と慢性原発閉塞隅角眼における前眼部構造の比較. 第36回神戸市立医療センター中央市民病院眼科オープンカンファレンス, 神戸, 2017. 3. 11
71. 広瀬文隆: 閉塞隅角緑内障を解き明かす! (特別講演). 宝塚市眼科医会学術講演会, 宝塚, 2017. 3. 25

VII. 4. 4 耳鼻咽喉科

1. 原田博之, 篠原尚吾, 末廣 篤, 岸本逸平, 林 一樹, 内藤 泰: 胸腹部原発癌の頸部リンパ節転移に対する頸部郭清術についての検討. 第28回京都耳鼻咽喉科研究発表会, 京都, 2016. 4. 2
2. 篠原尚吾, 原田博之, 末廣 篤, 岸本逸平, 林 一樹, 内藤 泰: 全身麻酔のリスク (ASA-PS) は甲状腺全摘術後の全生存率に影響するか? 第28回京都耳鼻咽喉科研究発表会, 京都, 2016. 4. 2
3. 篠原尚吾, 末廣 篤, 原田博之, 林 一樹, 山本亮介, 桑田文彦, 岸本逸平, 藤原敬三, 内藤 泰: 全身麻酔のリスクは, 甲状腺全摘術後の生命予後に影響するか? 第117回日本耳鼻咽喉科学会, 名古屋, 2016. 5. 18-21
4. 山本亮介, 内藤 泰, 林 一樹, 桑田文彦, 原田博之, 岸本逸平, 末廣 篤, 藤原敬三, 篠原尚吾: 小児両側人工内耳の成績. 第117回日本耳鼻咽喉科学会, 名古屋, 2016. 5. 18-21
5. 藤原敬三, 内藤 泰, 篠原尚吾, 末廣 篤, 岸本逸平, 原田博之, 桑田文彦, 山本亮介: 反復性髄膜炎を内耳窓閉鎖術により制御しえたcommon cavity奇形の1例. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会, 鹿児島, 2016. 6. 23-24
6. 桑田文彦, 篠原尚吾, 山本亮介, 原田博之, 岸本逸平, 末廣 篤, 藤原敬三, 内藤 泰: 上顎洞内に生じたコレステリン肉芽腫症例. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会, 鹿児島, 2016. 6. 23-24
7. 山本亮介, 篠原尚吾, 末廣 篤, 原田博之, 桑田文彦, 岸本逸平, 藤原敬三, 内藤 泰: 著明な高Ca血症により術前から拡大切除を計画した副甲状腺癌例. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会, 鹿児島, 2016. 6. 23-24
8. 松永麻美, 大田耕造, 牛呂幸司, 道田哲彦, 脇坂仁美, 中村 一: 当院における鼻副鼻腔乳頭腫の検討: exophytic papillomaに合併したcarcinoma in situ. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会, 鹿児島, 2016. 6. 23-24
9. 牛呂幸司, 藤本康子, 道田哲彦, 松永麻美, 脇坂仁美, 大田耕造, 中村 一: 甲状腺未分化癌との鑑別に苦慮した滑膜肉腫の1例. 第78回耳鼻咽喉科臨床学会, 鹿児島, 2016. 6. 23-24
10. 藤原敬三: 先天性難聴の遺伝子検査 (講演). 神戸地区耳鼻咽喉科医会連絡会, 学術講演会・臨床セミナー, 神戸, 2016. 6. 25
11. 内藤 泰: 小児人工内耳-大いなる成功と最近のトピックス (ランチョンセミナー). 第11回日本小児耳鼻咽喉科学会, 徳島, 2016. 6. 30-7. 1
12. 藤井直子, 諸頭三郎, 大西晶子, 岸本逸平, 内藤 泰: 残存聴力活用型人工内耳 (EAS: Electric acoustic stimulation) の小児例5例の術後成績. 第11回日本小児耳鼻咽喉科学会, 徳島, 2016. 6. 30-7. 1
13. 道田哲彦, 内藤 泰, 篠原尚吾, 藤原敬三, 竹林慎治, 原田博之, 林 一樹, 山本亮介, 齊田浩二: 小児両側同時人工内耳埋め込み術の経験. 第183回日耳鼻兵庫県地方部会, 神戸, 2016. 7. 9
14. 齊田浩二, 篠原尚吾, 原田博之, 道田哲彦, 竹林慎治, 林 一樹, 山本亮介, 藤原敬三, 内藤 泰: 急性喉頭蓋炎様の症状を示した副甲状腺腫瘍出血の1例. 第183回日耳鼻兵庫県地方部会, 神戸, 2016. 7. 9

15. 川瀬哲明, 内藤 泰:「耳鳴診療ガイドライン作成にむけて」標準耳鳴検査法－その記載法について－ (パネルディスカッション, パネリスト). 日本聴覚医学会, 第2回耳鳴難聴研究会, 東京, 2016.7.9
16. Harada H, Shinohara S, Suehiro A, Fujiwara K, Kishimoto I, Kuwata F, Hayashi K, Yamamoto R, Naito Y: Neck dissection for cervical lymph node metastases from primaries not in the head and neck. AHNS 9th International Conference on Head and Neck Cancer, Seattle, U.S.A, 2016.7.16-20
17. Naito Y, Kishimoto I, Moroto S, Sasaki I, Fujiwara K: Electrically evoked brainstem responses of prelingually deafened children who underwent sequential bilateral cochlear implantation. 2016 Annual CORLAS meeting, Bordeaux, France, 2016.8.28-31
18. 内藤 泰: 耳科手術から見た側頭骨画像所見読影のポイント (日耳鼻領域講習講演). 富山県呉西地区耳症例研究会, 高岡, 2016.9.15
19. Harada H, Shinohara S, Suehiro A, Fujiwara K, Kishimoto I, Hayashi K, Yamamoto R, Naito Y: ND for metastases from primaries that are not in the head and neck. American Academy of Otolaryngology-Head and Neck Surgery Annual Meeting (AAO-HNSF 2016), San Diego, U.S.A, 2016.9.18-21
20. 道田哲彦, 内藤 泰, 藤原敬三, 竹林慎治, 原田博之: 小児両側同時人工内耳埋め込み術－自験例の検討. 第26回日本耳科学会, 松本, 2016.10.5-8
21. 内藤 泰, Claude J: 人工内耳における低侵襲手術－術者の視点から (ランチョンセミナー). 第26回日本耳科学会, 松本, 2016.10.5-8
22. 藤原敬三, 内藤 泰, 竹林慎治, 原田博之, 道田哲彦: 中耳疾患の診療において撮影されたMRI拡散強調画像の検討 (テーマセッション). 第26回日本耳科学会, 松本, 2016.10.5-8
23. Naito Y: Two cases with novel vestibular aqueduct anomalies who underwent successful cochlear implantation. New trends in hearing implant sciences 2016－Hakuba meeting in OKUSHIGA－, 長野県下高井郡, 2016.10.8-10
24. 道田哲彦, 藤原敬三, 内藤 泰: 音響性聴器障害の非対称性に関する検討. 第61回日本聴覚医学会, 盛岡, 2016.10.19-21
25. 大西晶子, 諸頭三郎, 前川圭子, 山崎朋子, 玉谷輪子, 藤井直子, 藤原敬三, 内藤 泰: データロギング機能を用いた人工内耳装用小児の装用状況と音環境の検討. 第61回日本聴覚医学会, 盛岡, 2016.10.19-21
26. 藤原敬三, 内藤 泰, 宇佐美真一, 道田哲彦: 当科で施行した先天性難聴の遺伝学的検査に関する検討. 第61回日本聴覚医学会, 盛岡, 2016.10.19-21
27. 竹林慎治, 齊田浩二, 山本亮介, 林 一樹, 道田哲彦, 原田博之, 藤原敬三, 篠原尚吾, 内藤 泰: 左総頸動脈蛇行症を伴った甲状腺手術の1例. 第49回日本甲状腺外科学会, 甲府, 2016.10.27-28
28. 齊田浩二, 藤原敬三, 竹林慎治, 原田博之, 道田哲彦, 林 一樹, 山本亮介, 篠原尚吾, 内藤 泰: 中耳腺腫の1例. 第184回日耳鼻兵庫県地方部会, 西宮, 2016.11.27
29. 山本亮介, 篠原尚吾, 齊田浩二, 林 一樹, 道田哲彦, 原田博之, 竹林慎治, 藤原敬三, 内藤 泰: 腫瘍随伴症候群と思われる多関節炎を合併した甲状腺乳頭癌症例. 第184回日耳鼻兵庫県地方部会, 西宮, 2016.11.27
30. 内藤 泰: これからの難聴小児の医療について. 神戸市立総合療育センター難聴児通園施設難聴児クラス保護者勉強会, 神戸, 2016.12.2
31. 道田哲彦: 小児両側同時人工内耳手術の経験. 第29回京都耳鼻咽喉科研究会, 京都, 2016.12.3
32. 内藤 泰: 神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科・平成28年の現況. 第13回神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科地域合同オープンカンファレンス, 神戸, 2016.12.8
33. 藤原敬三, 竹林慎治, 末廣 篤, 原田博之, 道田哲彦, 林 一樹, 山本亮介, 齊田浩二: ご紹介頂いた症例呈示, 治療方針, 経過報告, 診療の話題. 第13回神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科地域合同オープンカンファレンス, 神戸, 2016.12.8
34. 藤原敬三: 次世代シーケンス解析によりOTOF遺伝子変異が同定された1例. 第2回次世代シーケンス解析講習会, 松本, 2017.1.21-22
35. 内藤 泰: 髄膜炎・内耳奇形 (講演・シンポジウム). 第27回日本頭頸部外科学会総会, 東京, 2017.2.2-3
36. 内藤 泰: 言語習得前失聴小児の言語到達における視聴覚統合の脳機能 (講演). 第23回東大・慶大ジョイントカンファレンス, 東京, 2017.2.9

37. 道田哲彦, 篠原尚吾, 内藤 泰, 藤原敬三, 竹林慎治, 原田博之, 林 一樹, 山本亮介, 齊田浩二: 膜様部から気管内に進展し喉頭全摘を要した甲状腺乳頭癌の一例. 第4回上方内分泌外科学研究会, 大阪, 2017. 3. 3
38. 内藤 泰: 人工内耳と難聴の医療について (講演). 第17回人工内耳と難聴に関する勉強会 (人工内耳親の会), 神戸, 2017. 3. 4
39. Michida T, Shinohara S, Naito Y, Fujiwara K, Takebayashi S, Harada H, Hayashi K, Yamamoto R, Saida K, Imai Y: Poorly differentiated thyroid carcinoma: a retrospective study. 5th Congress of asian society of head and neck oncology (ASHNO), Bali, 2017. 3. 23-25
40. Shinohara S, Takebayashi S, Kikuchi M, Harada H, Michida T, Yamamoto R, Hayashi K, Saida H, Usami Y, Uehara K, Imai Y: P16 positive/ p53 negative oropharyngeal squamous cell carcinoma - Response to chemotherapy, survival and multiple malignancy incidence. 5th Congress of asian society of head and neck oncology (ASHNO), Bali, 2017. 3. 23-25
41. Shinohara S, Funabiki K, Nakano M, Goto T, Kataoka Y, Takebayashi S, Saida K, Hayashi K, Yamamoto R, Michida T, Harada H, Fujiwara K, Imai Y, Naito Y: Optical biopsy in head and neck cancers using fiber-bundle based micro-endoscope. 5th Congress of asian society of head and neck oncology (ASHNO), Bali, 2017. 3. 23-25
42. Takebayashi S, Shinohara S, Saida K, Hayashi K, Yamamoto R, Michida T, Harada H, Fujiwara K, Naito Y: A retrospective study on adenoid cystic carcinoma in the head and neck. 5th Congress of asian society of head and neck oncology (ASHNO), Bali, 2017. 3. 23-25
43. Hayashi K, Shinohara S, Naito Y, Fujiwara K, Takebayashi S, Harada H, Michida T, Yamamoto R, Saida K: Clynical analysis of cervical metastatic carcinoma of unknown primary. 5th Congress of asian society of head and neck oncology (ASHNO), Bali, 2017. 3. 23-25

VII. 4. 5 放射線治療科

1. 佐藤悠城, 植木一仁, 藤本大智, 伊藤宗洋, 中川嘉宏, 伊藤次郎, 古郷摩利子, 寺岡俊輔, 加藤了資, 永田一真, 中川 淳, 大塚浩二郎, 小久保雅樹, 富井啓介: 間質性肺炎合併肺癌に対する放射線療法的安全性についての検討. 第56回日本呼吸器学会, 京都, 2016. 4. 8
2. Iizuka Y, Ueki N, Matsuo Y, Ishihara Y, Takayama K, Nakamura M, Mizowaki T, Kokubo M, Hiraoka M: 3D and 4D dose calculations for tumour-tracking irradiation of lung/liver tumours using gimbaled linac. 35th European Society for Radiation Oncology, Turin, Italy, 2016. 4. 30
3. Hanazawa H, Matsuo Y, Nakamura M, Tanabe H, Takamiya M, Iizuka Y, Shibuya K, Mizowaki T, Kokubo M, Hiraoka M: Correlation and directional stability of principal component of respiratory motion in the lung. 35th European Society for Radiation Oncology, Turin, Italy, 2016. 4. 30
4. 小坂恭弘, 小久保雅樹, 篠原尚吾, 末廣 篤, 原田博之: 頭頸部原発悪性腫瘍に対する放射線治療の予測困難な中絶. 第40回日本頭頸部癌学会, さいたま, 2016. 6. 9
5. 原田博之, 篠原尚吾, 小坂恭弘, 小久保雅樹, 竹信俊彦, 末廣 篤, 岸本逸平, 林 一樹: 当科における根治照射後の放射線性骨髄炎の検討. 第40回日本頭頸部癌学会, さいたま, 2016. 6. 10
6. 齋藤伴樹, 浜川博司, 伊達直希, 南 和宏, 坂之上朗, 高橋 豊, 小久保雅樹, 小坂恭弘: I期肺腺癌への体幹部定位放射線治療後の再燃例に対し, 胸壁合併右上葉切除を施行した一例. 第104回日本肺癌学会関西支部, 大阪, 2016. 7. 16
7. Yamashita M, Takahashi R, Kokubo M, Takayama K, Tanabe H, Sueoka M, Ishii M, Iwamoto Y, Okuuchi N, Tachibana H: A feasibility study of independent dose verification for Vero4DRT. 58th American Association of Medical Physics, Washington DC, USA, 2016. 7. 30
8. Iizuka Y, Matsuo Y, Ueki N, Takayama K, Mitsuyoshi T, Ueki K, Tanabe H, Nakamura M, Mizowaki T, Kokubo M, Hiraoka M: Clinical result of dynamic tumor-tracking stereotactic body radiotherapy for liver tumors using a gimbal mounted linac. 58th American Society for Radiation Oncology, Boston, USA, 2016. 9. 26
9. Ueki K, Takayama K, Iizuka Y, Kimino G, Imagumbai T, Suginoshi Y, Tei H, Kosaka Y, Inokuma T, Kokubo M: Correlation between dose-volumetric parameters and late liver dysfunction after dynamic tumor-tracking stereotactic body radiotherapy for hepatocellular carcinoma. 58th American Society for Radiation Oncology, Boston, USA, 2016. 9. 26

10. 光吉隆真, 松尾幸憲, 高山賢二, 植木奈美, 飯塚裕介, 新谷 堯, 植木一仁, 田邊裕朗, 中村光宏, 溝脇尚志, 小久保雅樹, 平岡眞寛: 肺腫瘍に対するリアルタイムモニタリング下動体追尾SBRTの初期治療成績. 第54回日本癌治療学会, 横浜, 2016.10.22
11. 飯塚裕介, 松尾幸憲, 高山賢二, 植木奈美, 光吉隆真, 植木一仁, 田邊裕朗, 中村光宏, 溝脇尚志, 小久保雅樹, 平岡眞寛: 肝腫瘍に対するリアルタイムモニタリング下動体追尾定位放射線治療の臨床成績. 第54回日本癌治療学会, 横浜, 2016.11.20
12. Yamashita M, Ishi M, Yoshida K, Okamura Y, Kokubo M: The accuracy of TPS calculation algorithm in the inhomogeneity area: a phantom study. The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Radiation Oncology, Kyoto, 2016.11.25
13. Narukami R, Kosaka Y, Kokubo M, Imagunbai T, Ogura K, Ueki K, Hattori T, Shinohara S, Harada H: Concurrent Lenvatinib and Radiation Therapy for Radioiodine Refractory Thyroid Cancer; A Case Report. The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Radiation Oncology, Kyoto, 2016.11.26
14. Ueki K, Takayama K, Iizuka Y, Kimino G, Kosaka Y, Imagumbai T, Kokubo M: Relationship between dosimetric parameters and late liver dysfunction after SBRT for HCC. The 29th Annual Meeting of the Japanese Society for Radiation Oncology, Kyoto, 2016.11.26
15. Mitsuyoshi T, Matsuo Y, Takayama K, Ueki N, Iizuka Y, Shintani T, Ueki K, Tanabe H, Nakamura M, Mizowaki T, Kokubo M, Hiraoka M: The First Report to Evaluate Clinical Outcome of Dynamic Tumor-Tracking Stereotactic Body Radiotherapy for Early Stage Lung Cancer and Oligometastatic Lung Tumors using a Gimbal-Mounted Linear Accelerator. 102nd Radiological Society of North America, Chicago, USA, 2016.11.27
16. Matsuo Y, Nagata Y, Wakabayashi M, Eba J, Ishikura S, Onishi H, Kokubo M, Karasawa K, Shioyama Y, Onimaru R, Hiraoka M: Impact of Inflammation and Sarcopenia on Outcomes after Stereotactic Body Radiotherapy for T1N0M0 Non-Small Cell Lung Cancer. 17th World Conference of Lung Cancer, Vienna, Austria, 2016.12.6
17. Sawada A, Itoh N, Imataki Y, Shintani M, Sueoka M, Taniuchi S, Kokubo M: Fabrication of 3D-Printed Shielding Block with High Accuracy for Total Body Irradiation. International Conference on Medical Physics 2016, Bangkok, Thailand, 2016.12.9
18. Nakai T, Sawada A, Tanabe H, Sueoka M, Taniuchi S, Shiinoki T, Ishihara Y, Kokubo M: Investigation of Well-Balanced kV X-Ray Imaging Conditions between Skin Dose and Image Noise. International Conference on Medical Physics 2016, Bangkok, Thailand, 2016.12.9
19. 古郷摩利子, 藤本大智, 河内勇人, 平林亮介, 森 令法, 伊藤宗洋, 中川嘉宏, 佐藤悠城, 寺岡俊介, 永田一真, 中川 淳, 大塚浩二郎, 伊藤次郎, 瀬尾龍太郎, 浜川博司, 高橋 豊, 小久保雅樹, 富井啓介: ECMOの一時的な使用により抗癌治療が可能となった肺癌の3例. 第88回日本呼吸器学会近畿地方会, 京都, 2016.12.10
20. 藤本大智, 上原慶一郎, 坂之上朗, 佐藤悠城, 伊藤宗弘, 寺岡俊輔, 永田一真, 中川 淳, 大塚浩二郎, 小坂恭弘, 浜川博司, 今井幸弘, 小久保雅樹, 高橋 豊, 富井啓介: 局所進行非小細胞肺癌における化学放射線治療前後でのPD-L1発現の変化. 第57回日本肺癌学会, 福岡, 2016.12.20
21. 服部貴之, 小坂恭弘, 大塚浩二郎, 奥田千幸, 鳴神 亮, 植木一仁, 小倉健吾, 今輩倍敏行, 片上信之, 富井啓介, 小久保雅樹: 気管支癌に対し外照射と画像誘導線源治療を行った一例. 第43回京都放射線腫瘍研究会, 京都, 2017.2.18
22. 平林亮介, 伊藤次郎, 大塚浩二郎, 河内勇人, 森 令法, 伊藤宗洋, 中川嘉宏, 古郷摩利子, 佐藤悠城, 寺岡俊輔, 藤本大智, 永田一真, 中川 淳, 旗智幸政, 今井幸弘, 植木一仁, 小久保雅樹, 富井啓介: Osimertinib投与中に小細胞肺癌への形質転換を認めたT790M陽性肺腺癌の一例. 第105回日本肺癌学会関西支部学術集会, 大阪, 2017.2.25
23. 伊藤宗洋, 藤本大智, 河内勇人, 永田一真, 中川 淳, 大塚浩二郎, 小倉健吾, 小坂恭弘, 小久保雅樹, 富井啓介: 脳転移放射線治療後に脳浮腫を伴う症状増悪がみられラムシルマブ(RAM)とドセタキセル(DTX)併用療法を行った肺扁平上皮癌の一例. 第105回日本肺癌学会関西支部会, 大阪, 2017.2.25
24. 小倉健吾, 小坂恭弘, 今輩倍敏行, 植木一仁, 鳴神 諒, 服部貴之, 小久保雅樹: 大きな転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療におけるmodified PTV法の定量的評価・意義. 第315回日本医学放射線学会関西地方会, 大阪, 2017.2.25

VII. 4. 6 臨床検査技術科

1. 馬場理江, 那須浩二, 川本篤彦: 拡張期成分に着目したドブラ波形分類による下肢動脈病変の評価. 第57回日本脈管学会総会, 奈良, 2016.10.14

VII. 4. 7 放射線技術科

1. Akamatsu G, Ohnishi A, Nishida H, Aita K, Sasaki M, Kohara N, Senda M: Quantification of ^{18}F -FDOPA and ^{11}C -Raclopride PET as a biomarker of Parkinson's disease. The 72nd Annual Scientific Congress of the Japanese Society of Radiological Technology, Yokohama, 2016. 4. 14-17
2. 赤松 剛, 佐々木雅之, 千田道雄: FDG-PETにおけるSUVの標準化～最新技術に対する考え方と標準化の国際的動向～. 第16回日本核医学会春季大会, 大阪, 2016. 4. 23-24
3. 赤松 剛: PET撮像標準プロトコールについて. 第16回日本核医学会春季大会, 大阪, 2016. 4. 23-24
4. 赤松 剛: 認知症ファントム試験の判定に対する考え方と理論的背景. 第16回日本核医学会春季大会, 大阪, 2016. 4. 23-24
5. 赤松 剛, 井狩彌彦, 大西章仁, 千田道雄: アミロイドPETにおけるPET画像のみを用いる定量評価方法の開発. 第11回日本分子イメージング学会総会・学術大会, 神戸, 2016. 5. 28-29
6. 大西章仁, 赤松 剛, 西田広之, 相田一樹, 佐々木將博, 千田道雄: [^{11}C] メチオニンPETが有用であった脳腫瘍の2症例. 第11回日本分子イメージング学会総会・学術集会, 神戸, 2016. 5. 28-29
7. Akamatsu G, Ikari Y, Ohnishi A, Nishio T, Nishida H, Yamamoto Y, Sasaki M, Senda M: Automated PET-only quantification of amyloid deposition with adaptive atlas and empirically pre-defined ROI template. 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, San Diego, 2016. 6. 11-15
8. Akamatsu G, Ohnishi A, Nishida H, Ikari Y, Nishio T, Aita K, Sasaki M, Kohara N, Senda M: Effect of reconstruction conditions on quantification of ^{18}F -FDOPA and ^{11}C -Raclopride PET as a biomarker of Parkinson's disease. 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, San Diego, 2016. 6. 11-15
9. Aita K, Ohnishi A, Akamatsu G, Sasaki M, Senda M: Synthesis of high specific activity [^{18}F] FDOPA using a synthesizing device with a user-configurable cassette. 63rd Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine and Molecular Imaging, San Diego, 2016. 6. 11-15
10. 赤松 剛: 定量的分子イメージングの実現に向けたPETの最新技術. 第17回日本放射線技術学会中国・四国支部夏季学術大会, 広島, 2016. 7. 3
11. 山根祐輝, 栗山 巧, 真砂勝泰: シンチレーション光ファイバー線量計を用いたCTガイド下肺生検時の患者皮膚表面線量の検討. 第44回日本放射線技術学会秋季学術大会, さいたま, 2016.10.13-15
12. 赤松 剛, 大西章仁, 井狩彌彦, 西田広之, 相田一樹, 佐々木將博, 幸原伸夫, 千田道雄: ^{18}F -FDOPAおよび ^{11}C -Racloprideを用いた高分解能PETにおける撮像条件と定量評価方法の確立. 第56回日本核医学会学術総会, 名古屋, 2016.11. 3-5
13. 相田一樹, 木本章吾, 大瀬祐作, 趙 芫, 山岡高章, 大西章仁, 赤松 剛, 佐々木將博, 千田道雄: カセット式PET薬剤自動合成装置を用いた高比放射能 [^{18}F] FDOPAの製造. 第56回日本核医学会学術総会, 名古屋, 2016.11. 3-5
14. 守田圭伸, 竹下利貴, 松延佑将, 前畠 彬, 赤松 剛, 筒井悠治, 氷室和彦, 馬場眞吾, 佐々木雅之: PET画像における不均一性評価にmatrix sizeが及ぼす影響. 第36回日本核医学技術学会総会学術大会, 名古屋, 2016.11. 3-5